

済生会川内病院
広報にじ

vol. 64

2023/09
TAKE FREE

niji

Contents

- 02 Doctor's eye
ドイツ留学記
- 05 いりょう相談室
介護保険について
- 06 新任 Dr.紹介・ちょっと教えて!
- 07 信頼と連携の輪
- 08 創立75周年記念



ドイツ留学記

ハンプルク・エッペンドルフ大学
外科留学時代の手記より

本年5月 英国オックスフォード大学出版局から出版された「Oesophagus and Stomach (食道と胃)」に、当院の院長補佐で外科部長の有留先生が寄稿されました。今回はその執筆に至った経緯や、ドイツ留学時代の思い出など、手記を織り交ぜながらお話し頂きました。

2019年3月25日、オックスフォード大学出版局(Oxford University press)の編集者より、以下の内容メールをいただきました。「オックスフォード臨床実践シリーズの教科書となる「食道と胃」の教科書への寄稿者としてあなたを招待します。「胃の良性疾患」の章を準備していただきたいと思えます。(日本語訳。)との内容でした。

突然のメールで驚いたのですが、メールの全文、添付の文書を読むにあたり、同大学医学部の教科書の執筆の依頼とわかりました。大変なことと感じざるを得ず、どのように対処しようかと、正直なところ、当初、迷いました。その後、よくよく主任編集者の名前をチェックしたところ、ドイツ・ハンプルク・エッペンドルフ大学・外科主任教授のヤコブ・イズビッキー教授の名が目に入りました。私は、2004年秋〜2006年春にかけて同大学一般外科・消化器外科に留学しましたが、同教授は、ドイツ留学の際の私のボスであり、大変お世話になった恩師です。このメールの内容より、この執筆の依頼は、イズビッキー教授の推薦であり、「断れない、どうしても執筆しなくてはならない」という強い気持ちに駆られました。このような訳で、オックス



有留 邦明

Kuniaki Aridome

院長補佐兼外科部長

フオード大学の「Oesophagus and Stomach」(食道と胃)という名の教科書の「Benign diseases of the stomach, Focus on dyspepsia」(胃の良性疾患：ディスペプシア(消化不良)を中心に)というタイトルで書籍の一項目を執筆することになりました。ヨーロッパでは、慢性的な心窩部(みぞおち)の痛み、胃もたれなどの症状を呈するディスペプシアに対する関心が高く、私はこの事に対する執筆となりました。臨床経験を踏まえ、かなりの数の論文も読破した後、執筆した内容について編集者とやりとりし、加筆・修正を行い、2023年5月12日、4年という月日を経て、出版となりました。非常に名誉あるものと感じています。

このメールから始まる執筆の最中、私の記憶が過去に遡り、ドイツ留学の経験が、私の脳裏に明確に追憶として甦ってきました。当時のドイツ留学の際の写真を見返し、また、その時に書いた私の手記を再読し、私の

ドイツ留学がどのようなものであったか、タイムトラベラーになったつもりで、以下に、当時の手記と共に掲載いたします。

「2004年9月より、ハンブルク・エッペンドルフ大学病院外科に留学しています。ハンブルクは、エルベ川河口に位置する、ヨーロッパでも屈指の港湾都市です。人口は、現在ベルリンに次いで第一の都市です。市の中心には、アルスター湖が位置しており、とても美しい街です。私の留学しているハンブルク・エッペンドルフ大学病院は、アルスター湖の北側に位置しています。.....なつかしい。私も若い。(写真)

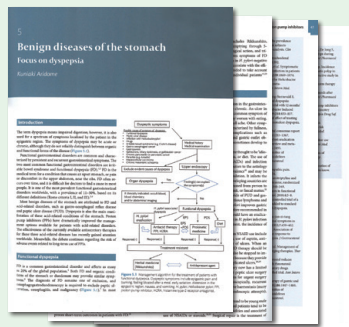
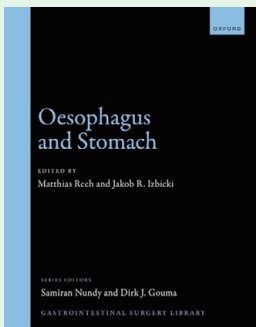


アルスター湖



私の机のある同じ部屋の医師と

「ドイツ外科医の生活ですが、わたしの見たところでは日本の外科医と同じく毎日忙しい日々を送っています。冬場は早朝の外気は-5度〜0度ですが、朝早く病院に来て、朝7時15分より毎日カンファレンスがあり、このカンファレンスに出席してから診療が始まります。また、当直は月に平均2回、O-onigが月に平均5回あり、救急外来で患者が多いと眠れないこともしばしばです。しかし、彼らが恵まれているのは、当直の翌日は休日となること、給与は確保され、アルバイトをしなくてもよ



5: Benign diseases of the stomach: Focus on dyspepsia
(胃の良性疾患：ディスペプシア(消化不良)を中心に) 有留邦明



「Oesophagus and Stomach」
(食道と胃)

マティアス・リー / 編
ヤコブ・R・イズビッキー / 編
2023.5 オックスフォード大学出版局

く、年間の有給休暇は日本の2倍以上あることだと思えます。」



雪の日のハンブルク・エッペンドルフ大学正門

……令和5年現在、当院で、私も取り組んでいる働き方改革により、ドイツの勤務形態に近づくように思いました。「ドイツの保険制度ですが、収入が限度額以下の人は公的医療保険に会員として加入する義務があり、限度額を超える人（お金持ち）には義務がなく、彼らは公的医療保険に加入できないため、民間医療保険に加入しています。ドイツでは人口の92%が公的医療保険に加入し、7%の人が民間医療保険に加入しているそうです。」

……18〜19年前に、

私がドイツ在住のころ、ドイツの公的保険（日本でいう国保・社保）にも加入していました。今後、日本の保険制度は、ドイツの医療制度も参考にしていくなか、勝手ながら感じていきます。

「ハンブルク・エッペンドルフ大学病院で、研究のかたわら、手術、ICU等見学しています。イスビッキ―教授の外来にはドイツ国内より多くの手術患者が集まってきており、食道疾患、膵疾患を中心に手術症例が多く、他のスタッフともども精力的に手術をされています。ドイツ人外科医は、日本の医師と同じように、癌の根治術に対する姿勢は積極的です。また、当大



2005年当時の大学病院。現在は、新築され大きなメディカルセンターになっています。

学病院には、手術支援用ロボットの「ダ・ヴィンチ」があり、何回も手術を見学させていただきました。このダ・ヴィンチは、はじめは心臓外科のバイパスのために購入したようですが、泌尿器科の前立腺癌の手術では、神経温存の手術ができて、術後のQOLが良好なため、特に有用とのことです。こちらの外科では、将来を見据え、食道胃逆流症（GERD）に対する噴門形成術、胆嚢摘出術、肝のう胞手術等にこのロボットを用いて手術を開始しています。何回かその手術も見学しましたが、こちらの外科医師もこの機器を上手に使いこなし、手術も早くて確で大変勉強になります。ドイツ外科医も日本の外科医同様に器用で、手術は的確、うまいという印象を受けました。」

……今年、当院にもダ・ヴィンチが導入されます。私がロボット支援手術を最初に見学したのは、18〜19年前のドイツの手術室であったこと再確認しました。また、ハンブルク大学近隣の病院へも、手術



近隣の病院に手術見学

見学にいきましたが、卓越した腹腔鏡手術を見学させていただきました。（写真）

このような海外での追憶にも後押しされ、オックスフォード大学の教科書の書籍の一目目を執筆しました。この教科書は、当院、図書館に蔵書予定となりました。なお、この教科書には、当院の名前も英文表記されています。ドイツ留学の経験より、同じヨーロッパである英国の大学の教科書の執筆に至ったことは、非常に感慨深いものとなりました。

……

次号では、意外？とも思えるドイツ人のフランクな一面や、子ども達の教育制度について、お話頂きます。お楽しみに。



いりよう相談室



居宅介護支援事業所せんだい
東 三千代さんに聞きました。

介護保険について

前は介護保険制度と申請の手続きについてお話ししました。
今回は介護保険サービスを利用するために必要な「要支援・要介護認定」についてお話ししたいと思います。

● 要支援・要介護認定とは

介護保険サービスを利用するには、要支援・要介護認定の審査を受け、介護が必要な状態であることを証明し、どの程度の介護が必要であるかの指標となる「要支援・要介護度」を決める必要があります。この要支援・要介護度に応じて、利用可能なサービスの上限金額は決まっており、その1～3割(所得に応じて)が自己負担となります。

	区分	状態のめやす	ひと月の支給限度額(1割)	住宅改修費	福祉用具購入費
介護予防サービス	要支援1	食事や排せつなど身の回りのことはほとんどできる。立ち上がりに支えが必要な場合がある。	5千円程度	20万円(※1)	年10万円(※2)
	要支援2	身の回りのことや日常生活に一部介助が必要なこともある。要介護状態と認められないが、社会的な支援を要する。	1万円程度		
介護サービス	要介護1	日常生活や基本的な身の回りのことなどに一部介助が必要。	1万6千円程度		
	要介護2	立ち上がりや歩行などに支えが必要。食事、衣服着脱、排せつや入浴などに一部介助が必要。	2万円程度		
	要介護3	立ち上がりや歩行などが自力でできず介助が必要。排せつや入浴、衣服の着脱などに介助が必要。	2万7千円程度		
	要介護4	入浴や排せつ、衣服の着脱などに全面的な介助、食事摂取に一部の介助が必要。立ち上がりはほとんどできない。認識力、理解力などに衰えがみられる。	3万円程度		
	要介護5	日常生活全般にわたって全面的な介助が必要。意思の伝達が困難。	3万6千円程度		

■(※1) 改修費用のうち一人最大20万円を限度とし、その7～9割が支給(1～3割は自己負担)

■(※2) 年10万円を上限に、購入費の7～9割が支給(1～3割は自己負担)

【参考資料】

区分・状態のめやす…「すぐにもらえるお金と使えるサービス」 著・監修 溝口知実 発行者：伊藤滋
発行所：株式会社 自由国民社

次号では、要介護認定を受けた方が利用出来る介護保険サービスの具体例をご紹介します。

新任Dr.紹介

趣味/特技
寝ること

ながの ゆうみ
永野 友美
産婦人科



医師5年目の永野と申します。初めての川内で慣れないことばかりですが、精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

趣味/特技
散歩

とくだ ともひろ
徳田 智大
研修医



研修医2年目の徳田です。まだまだわからないことだらけですが、少しでも何かを学べるようにがんばります。よろしくお願ひします。

趣味/特技
カラオケ

ひらの きょうか
平野 京香
小児科



7月から小児科に赴任しました平野です。研修医の頃にもお世話になった済生会川内病院に育休明けで復帰しました。よろしくお願ひします。

趣味/特技
ドライブ

しんかど あかり
新門 明里
研修医



鹿児島大学病院研修医の新門明里です。休みで予定のない日は車で遠出をするのが好きです。7月は産婦人科、8、9月は小児科でお話になります。よろしくお願ひいたします。

趣味/特技
ベース

たかつき よしひで
高附 佳秀
研修医



今後の医師人生に活かせる知識、経験を少しでも身につけられるよう頑張ります。

趣味/特技
ボート競技、ランニング

いけみつ ひとし
池満 仁司
研修医



患者様のためになるような診療を心がけて頑張ります。

お知らせ

「院内処方箋受付ファクシミリコーナー」は、以前、鹿児島銀行ATMが設置されていた場所へ移動しました。ご不便おかけしますがよろしくお願ひ致します。

院内処方箋受付
ファクシミリ
コーナー



ちよつと

フリーWi-Fiは使えますか？

教えて！

A：フリーWi-Fiサービスをご利用いただけるようになりました。

接続方法

次のSSID・パスワードでアクセスしてください。
SSID…SENDAIHP3
パスワード…院内に掲示しています

ご利用出来る場所

- ・1階…総合受付・救急外来・放射線部・レストラン
- ・2階…各診療科・腎センター・健診センター
- ・病棟…各病室・デイルーム

注意事項

- ・利用規約に同意いただける場合のみ、ご利用頂けます。（接続した時点で利用規約を承諾したものとみなされます。）
- ・接続設定は利用者ご自身で行ってください。
- ・接続機器の貸し出しは行っておりません。



信頼と連携の輪

地域医療を支える連携医療機関をご紹介します。



卓翔会記念病院

当院は、令和4年12月1日に病院名を「市比野記念病院」から「卓翔会記念病院」へと変更し、現在地へ移転して参りました。

新病院は、「hospitality(温かいおもてなし)」をコンセプトに地上6階建て、地域包括ケア病床30床、医療療養病床169床を有しています。

当院を中核として市比野記念クリニック、訪問看護ステーションこんにちわ、さらに、介護老人保健施設のグラン・ペリテひわき及びグラン・ペリテアネックス、小規模多機能施設水光舎、グループホーム遊雅の郷等のグループ内施設とも緊密に連携し、地域の皆様へ医療と介護サービスの切れ目ない提供に努めています。

今後も、社会医療法人卓翔会及び関連法人の社会福祉法人市比野福祉会と一体となって、地域の皆様の安心・安全な暮らしを支えられるよう、努力してまいります。



院長
内野 靖先生



卓翔会記念病院

TEL : 0996-29-5900

〒 895-0011 薩摩川内市天辰町 1512 番地 1

<https://www.takushokai.com>

■ 診療科目 内科、循環器内科、呼吸器内科、老年内科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科

■ 診療受付時間

【平日】(午前) 8:30 ~ 12:00 (午後) 13:30 ~ 17:30

【土曜日】(午前) 8:30 ~ 12:00

■ 診療時間

【平日】(午前) 9:00 ~ 12:30 (午後) 14:00 ~ 18:00

【土曜日】(午前) 9:00 ~ 12:30

※整形外科の診療は木曜日 14:30 ~ 18:00

■ 休診日 土曜日午後、日曜・祝日

医療法人こがひさお眼科クリニック

白内障・網膜硝子体疾患の日帰り手術を中心に

白内障、網膜硝子体疾患(黄斑前膜、網膜剥離、糖尿病網膜症など)、緑内障の日帰り手術を専門に行っています。院長は、九州・山口の数ヶ所の他施設でも手術を任されており、毎年2000例を超える手術を行っております。

「大切な人を安心して任せられる眼科」を目指し

手術で治る病気だけでなく、失明原因の上位を占める緑内障や加齢黄斑変性症など一生付き合っていくといけないような病気もあります。安心して医療が受けいただけるよう、最新の医療機器を導入するだけでなく、正確な検査を行うために6人の視能訓練士(国家資格)が在籍しています。また、クリニックの空間づくりやスタッフの接遇にも力を入れております。

今後も、眼科医専門医として蓄えた知識と経験を生かし、薩摩川内市および周辺地域にお住まいの皆様に、幅広いより最良の眼科医療、眼科手術を提供できるよう献身的に努力してまいります。



院長
古賀 久大先生



医療法人こがひさお眼科クリニック

TEL : 0996-21-1113

〒 895-0072 薩摩川内市中郷1丁目39番18号

<https://kogaeye.com/>

■ 診療科目 眼科

■ 診療受付時間

【月～水・金・土曜日】(午前) 8:00～12:00

【月・水曜日】 (午後) 14:00～17:00

【日曜・祝日】 (午前) 9:40～13:10

※日曜はコンタクトレンズの患者様中心の診療となります。

■ 休診日 火・金・土曜日午後・木曜



創立 75 周年

感謝を込めてこれからも地域と共に

当院の創立 75 周年を記念し、開設当初からの歩みを市の歴史と共に写真で振り返るこの企画。今回は、度重なる台風の襲来や大雨による川内川の氾濫で、甚大な被害に見舞われた昭和 40 年代の写真(上段)と、昭和 47 年から平成 12 年の長きにわたり尽力頂いた川上院長の外来での一コマなど(下段)をご紹介します。

1. 昭和 40 年 8 月 台風 15 号で倒壊した家屋



2. 昭和 47 年 6 月 上川内町 国道 3 号線沿いの水害



流域の農業や内水面漁業、水運、発電事業など、多くの恵みを与えてきた川内川。一方で住民にとっては水害との闘いでもあった。市中心部も度々水没し、昭和 46 年 7 月、8 月の大雨では、川内地区での水位は過去最高の 7.02 メートルを記録したという。

3. 昭和 40 年代 川上院長 (昭和 47 年～平成 12 年)を囲んで



4. 昭和 44 年 ソフトボールの 練習をするスタッフ



勢よくバットをふる男性と、そのボールの行く先を見守る数名の男女。仕事が終わると、周囲を田んぼに囲まれ、白線が引かれただけの空き地に集まり、ソフトボールの練習に励んだそう。よく見ると、キャッチャーと思しき男性の手にはミットが見当たらない。

濟生会アーカイブス

当院に関する昔の写真や資料をお持ちの方で、提供頂ける方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡下さい。
(写真・資料に関する情報も併せて提供頂けますと助かります)

- * 提供頂いた写真や資料の取り扱いについて
原則お返し致します。記念誌や動画作成等に使用させて頂くことがございます。
- * 提供方法

郵送：〒895-0074 薩摩川内市原田町 2 番 46 号 濟生会川内病院 広報委員会 広報誌係
メール: hishoka@saiseikai-sendai.jp

【出典】川内市市制五十周年記念「写真で見る昭和の川内市」編集：川内市歴史資料館 発行：鹿児島県川内市 平成 2 年 2 月 11 日
濟生会川内病院創立 70 周年記念誌 発行：社会福祉法人 濟生会川内病院

【参考資料】「保存版 薩摩川内・出水・阿久根・さつまの今昔」発行人：神津良子 発行所：(株)郷土出版社 発行日：2012 年 8 月 24 日
「目で見える川内・薩摩郡の 100 年」発行人：神津良子 発行所：(株)郷土出版社 発行：平成 16 年 5 月 20 日

niji 濟生会川内病院 広報誌
第 64 号 2023 年 9 月 1 日 発行



社会福祉法人
恩賜 濟生会川内病院
財団

niji への
ご意見・ご感想を
お寄せ下さい



〒 895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町 2 番 46 号 TEL (0996) 23-5221 FAX (0996) 23-9797
<https://www.saiseikai-sendai.jp> mail : info@saiseikai-sendai.jp